

2010年6月30日

熊本大学理学部

理学部 理学科 4年生アンケートの集計結果

このアンケートは、卒業を目前にひかえた理学部理学科4年生(2010年3月卒業生)が、本学部の教育システムである「一学科による教育プログラム制」に対してどのような意見をもち、どう評価しているのかを調べるために本学部独自に実施したものである。全対象学生からのアンケート回答回収を目指して、各研究室にアンケート用紙必要部数を封筒に封入して配布し、以下提出期限までに教務担当事務まで提出依頼した。アンケート回答提出については学科会議においても全教員に口頭で依頼した。

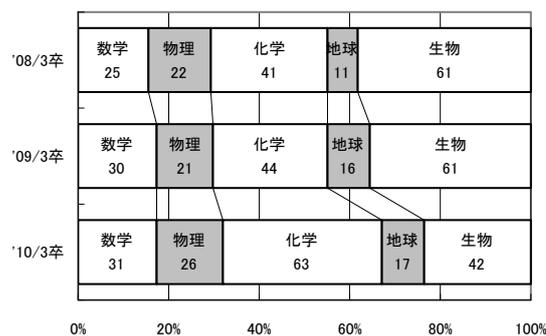
提出期限: 2010年1月29日(金)

提出場所: 理学系教務係

結果、171名から回答を得ることができた。回収率は96%であった。この報告書において回収したアンケートデータの集計結果を示す。

あなたの教育プログラムは何ですか

1. 数理科学
2. 物理
3. 化学
4. 地球環境
5. 生物環境



A. 入学時の志望理由について

(A1) 入学時に熊本大学理学部を選んだ理由を記述して下さい。

意見など: 167件

一人で複数の理由を挙げるものもいるが、個々の理由を分類し件数の多かったものから列挙する。

専門的な学習ができるから (39件)

地理的要因 (36件)

入学後、進路を選べる (33件)

偏差値などの学力 (28件)

広く学べるから (18件)

理系に進学したかった (15件)

理学科一学科制だから (13件)

個別試験の入試科目に英語がない (13件)

教員志望 (13件)

B. 教育システム、授業内容について

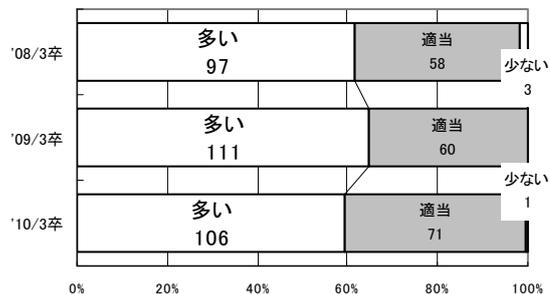
1年次基盤科目と2年次共通科目の教育内容について、お聞きします。

(B1) 1年次基盤科目の授業数は

1. 多い 2. 適当 3. 少ない

意見など：19件

これまで同様、「多い」と感じている学生が6割いる。

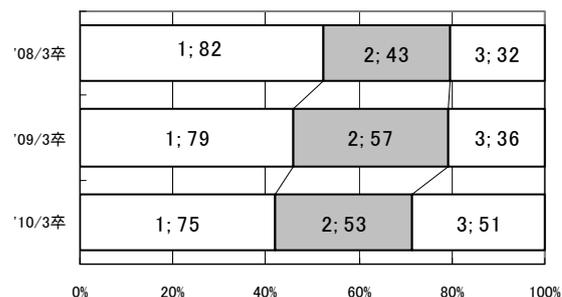


(B2) 1年次基盤科目において全ての科目を履修しなければならないことに関して

1. 負担に感じた 2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

意見など：18件

「負担に感じた」が減少している。

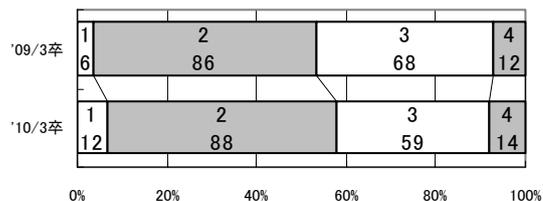


(B3) 1年次基盤科目において5分野全てを履修したことが、これまでの学習において

1. 非常に役立った 2. 役立った
3. あまり有益ではなかった 4. 有益ではなかった

意見など：33件

「役立った」と答えた学生が少し増加している。意見としては、バランスの問題を指摘する意見もあった。また、授業内容に関する意見もあった。

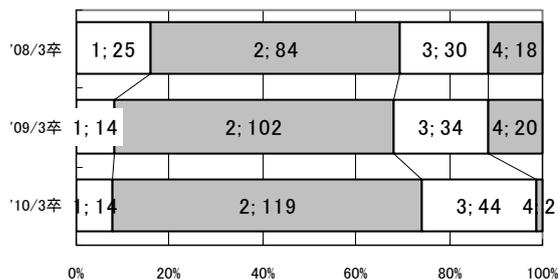


(B4) 1年次基盤科目の授業の水準は

1. 難しかった 2. 適当であった
3. やさしかった 4. その他

意見など：17件

「適当であった」が増えているが、「やさしかった」もかなり増えている。

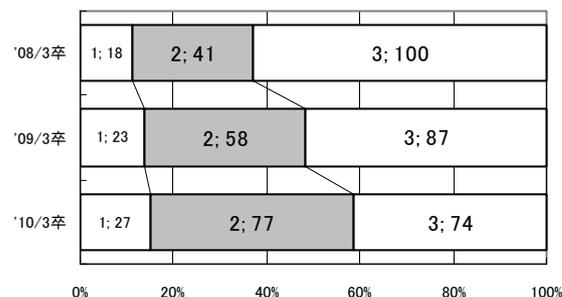


(B5) 1年次でゆとりを持って学習できましたか。

1. ゆとりがあった 2. どちらとも言えない
3. ゆとりがなかった

意見など：19件

「ゆとりがなかった」と答える割合が減少し、半分以下になっている。

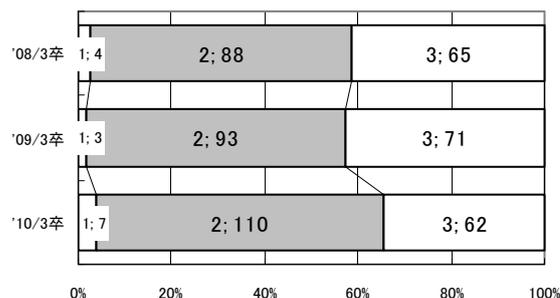


(B6) 2年次共通科目の授業数は

- 1. 多い
- 2. 適当
- 3. 少ない

意見など：15件

「適当」が少し増えている。既に実施した共通科目の充実の効果を検証する必要がある。

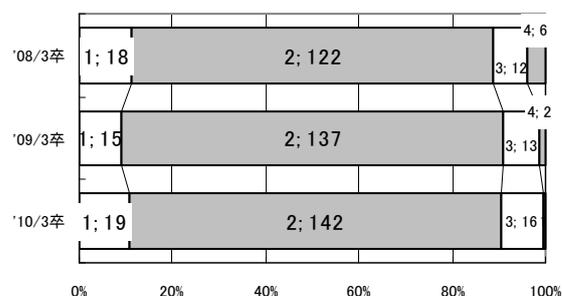


(B7) 2年次共通科目の授業の水準は

- 1. 難しかった
- 2. 適当であった
- 3. やさしかった
- 4. その他

意見など：7件

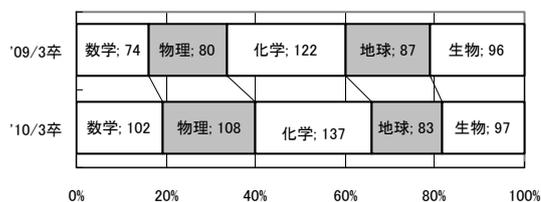
年度による変化は小さく、「適当であった」が多いが、科目による違いに注意する必要がある。



(B8) 2年次共通科目で履修した分野を選んで下さい。ただし、情報処理概論と基盤科目の統計学 I, IIは除きます。(複数選択可)

- 1. 数学
- 2. 物理
- 3. 化学
- 4. 地球
- 5. 生物

化学を履修する割合が多い。年次変化では、数学、物理が多少増えている。

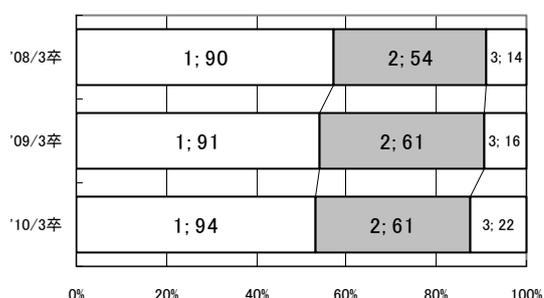


(B9) 2年次でゆとりを持って学習できましたか。

- 1. ゆとりがあった
- 2. どちらも言えない
- 3. ゆとりがなかった

意見など：8件

「ゆとりがなかった」が多少増えている。

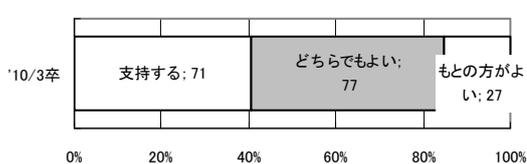


(B10) 2年次共通科目は2009年度入学者から開講科目数を増やし、履修しなければならない単位数も18単位に増やすように改変しました。この改変に関してどのように思いますか。

- 1. 支持する
- 2. どちらでもよい
- 3. もとの方がよい

意見など：24件

「支持する」が「もとの方がよい」の2倍以上であるが、「どちらでもよい」が4割を超えている。



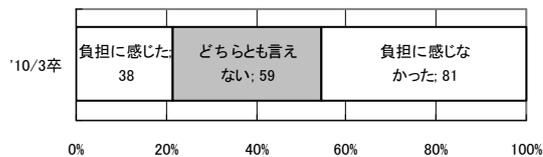
教養教育における科目についてお聞きします。

(B11) 理学部では卒業要件単位 124 単位の内、34 単位は教養教育の単位を取得する必要があります。負担に感じましたか。

1. 負担に感じた
2. どちらとも言えない
3. 負担に感じなかった

意見など：16 件

「負担に感じなかった」が半分程度ある。興味を持てる授業であったかで、負担に感じるかが決まるという意見があった。

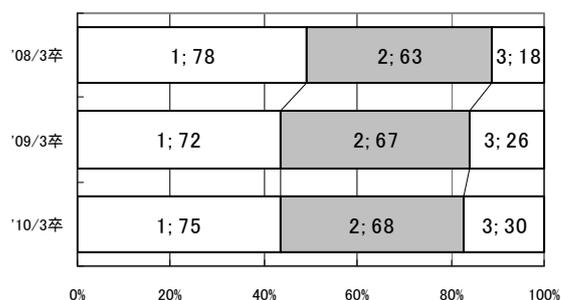


(B12) 基礎セミナーは、大学教育を受けるために必要な思考力や表現力など、基礎的素養を培う必修科目として開講されています。基礎セミナーについてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：28 件

昨年とほぼ同じ割合であった。意見からは、回答が履修したクラスに大きく左右されていることがわかる。

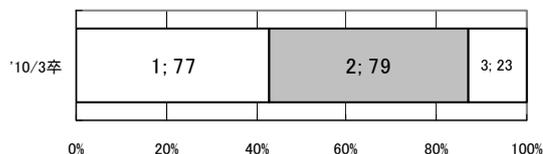


(B13) 上述の基礎セミナーの意義から、理学部独自に行う案があります。これについてどう思いますか。

1. 理学部独自で開講した方が良い
2. 現行の方が良い
3. 必要ない

意見など：17 件

1 と 2 がほぼ同数であった。「内容による」という意見もあり、具体的な提示がないとイメージがわからないのかもしれない。



(B14) 基礎セミナーに関して、授業内容や 100 クラスの中からクラスを選ぶ方法など、意見があれば自由に記述して下さい。

意見など：61 件

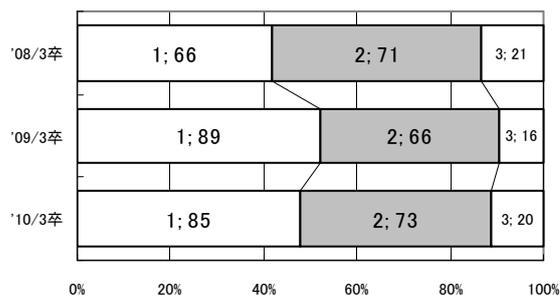
クラス選択方法に関して意見が多く、「幅広い分野があり、希望通りの人が多かったようなのでよいと思う。」という意見がある一方で、「興味を持てる科目が非常に少なかった。」「希望が通るか通らないかで意欲に差がでる。」「自分が受けたい授業をうけれなかった人もいたので、もう少し考えてほしい」という意見が多かった。基礎セミナーの利点として、「他学部との交流ができるのでそのままよい。」が多く挙げられている。教育効果に関して「レポートの書き方、プレゼンのしかた等を、理学への導入と関連付けて教えてほしい。」という要望をあげる意見もあった。

(B15) 情報基礎についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：15 件

多少「満足する」の割合が減少したが、全体として大きな変化がなかった。個人差に対応できていないという意見があった。物足りないと感じる学生もあれば、授業で出される課題を負担に感じた学生もいたようである。

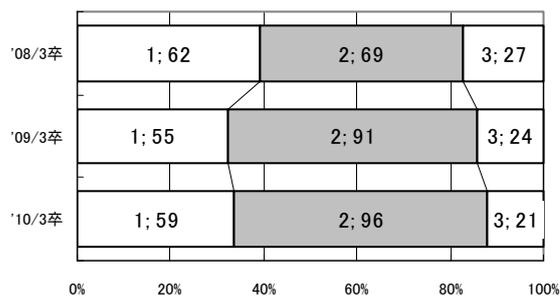


(B16) 既修外国語（英語）科目についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：20 件

「満足するものであった」が若干増えているが、「どちらとも言えない」が多くを占める。

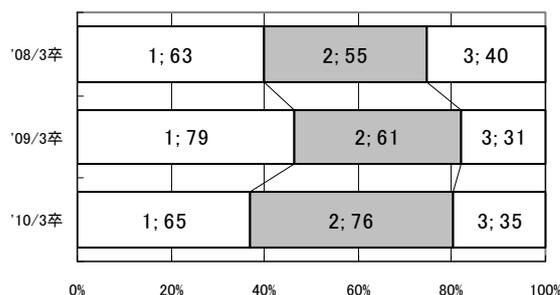


(B17) 初修外国語（ドイツ語またはフランス語）科目についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：25 件

「どちらとも言えない」が最も多い割合を占めた。

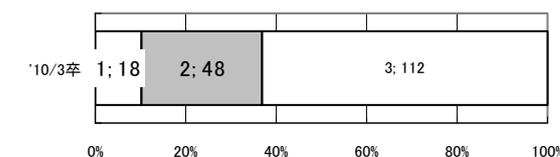


(B18) 初修外国語（ドイツ語またはフランス語）科目を履修してコミュニケーション能力が身に付きましたか。

1. 身に付いた
2. どちらとも言えない
3. 身につかなかった

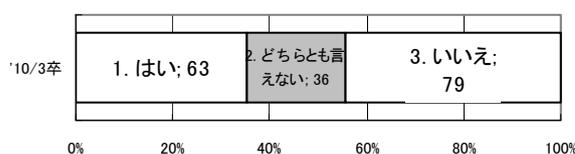
意見など：16 件

「身につかなかった」という回答が 6 割を超えている。その判断をしたレベルを寄せられた意見から推測すると、基本的なあいさつなどは身についたが、会話まではできないので、身につけていないと感じている学生が多いようである。



(B19) 初修外国語としてアジア圏の言語を選択できるとしたら履修しましたか。

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ



意見など：15件

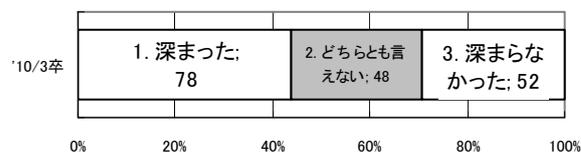
回答としては、半々という結果であった。

(B20) 自由選択外国語科目も含めて外国語科目の履修により異文化に対する理解が深まりましたか。

1. 深まった
2. どちらとも言えない
3. 深まらなかった

意見など：9件

「深まった」とするものが4割強、「深まらなかった」とするものが3割という結果であった。

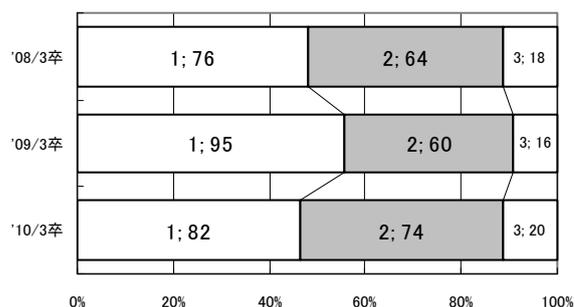


(B21) その他の教養教育科目（主題科目・学際科目等）についてどう思いますか。

1. 満足するものであった
2. どちらとも言えない
3. 不満があった

意見など：18件

「どちらとも言えない」が増加し、その分「満足するものであった」が減少した。

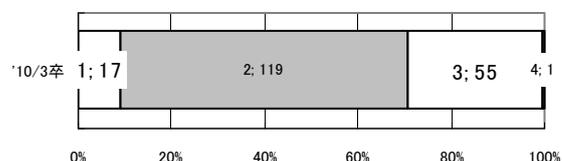


(B22) 主題科目でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他

意見など：7件

「興味があるものを選んで決めた」が6割を超えている。なお、「1,2,3 全てを考慮した。」というように複数選択している学生もいる。

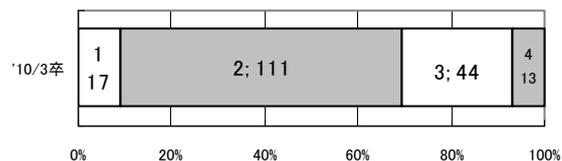


(B23) 学際科目でどの授業を履修するかをどのように決めましたか。

1. 授業科目間の関係を考えて決めた
2. 興味があるものを選んで決めた
3. 単位がとりやすいものを選んだ
4. その他

意見など：9件

主題科目と同様に「興味があるものを選んで決めた」が6割ある。また、複数選択している学生もいる。

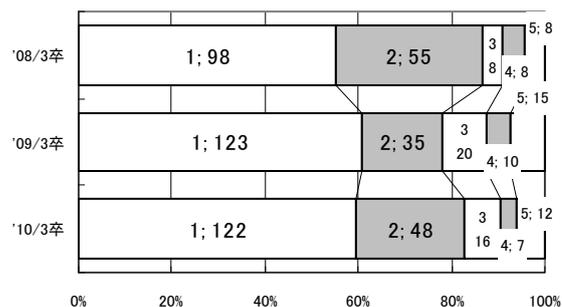


(B24) 教養教育で履修した科目の全てについてどう思いますか。(複数選択可)

1. 専門以外の授業が受けられて非常にためになった
2. 教養教育科目(主題科目等)は科目数が多すぎてどれを選べばよいかわからなかった
3. もっと高度な内容を取り扱ってほしかった
4. 高校と同程度で意味がなかった
5. その他

その他: 15件, 意見など: 3件

昨年に比べて「科目数が多すぎてどれを選べばよいかわからなかった」という意見が少し増えている。



(B25) 教養教育において特に印象に残った授業科目あるいは授業内容を挙げてください。

授業科目または授業内容: 101件

幅広い科目が挙げられているが、その中でも多いものを列挙する。なお、科目名が具体的に挙げられていないものも多く、以下ではキーワードが一致するものを集めた。

心理学: 15件, 音楽(+療法): 6件, 医学: 6件, 死について: 5件, 現代人間学の課題(科目として死についてと重なっている可能性あり): 4件, 就職活動: 4件, 建築: 4件

履修指導および3年次からの教育プログラム選択についてお聞きします。

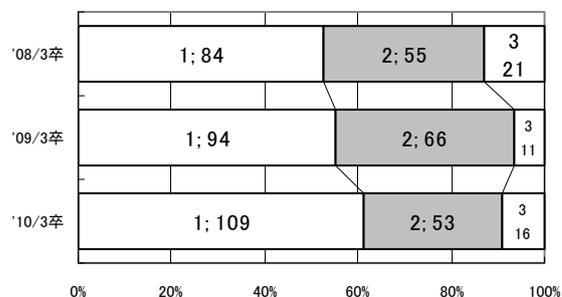
(B26) 教育プログラム選択のために提供された情報

(学生便覧, プログラム説明会, 推奨科目など)は

1. 十分である
2. もう少し多い方がよい
3. 不十分である

意見など: 9件

「十分である」が少しずつ増加している。

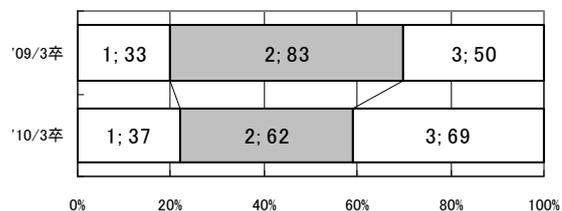


(B27) 2年次までのチューター制度は役に立ちましたか。

1. 助言をもらったり相談にのってもらい役にたった
2. どちらとも言えない
3. 提供された情報で十分であり, チューターとの面談は必要なかった

意見など: 36件

「チューターとの面談は必要なかった」が増加し, 4割になっている。

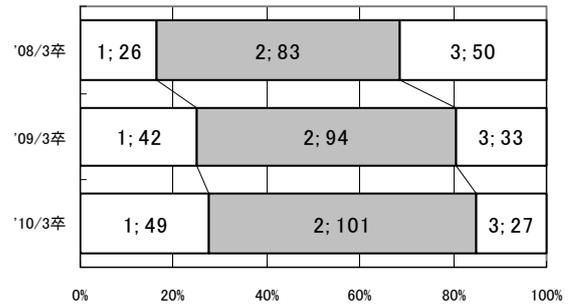


(B28) 教育プログラムの選択の際に、1年次基盤科目、2年次共通科目の教育内容は影響が

1. 非常にあった
2. 少しはあった
3. まったくなかった

意見など：5件

少しでも影響があったとするものが8割を超え、年々増えている。

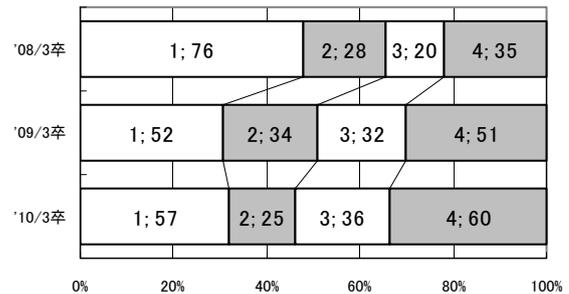


(B29) 教育プログラムはいつ決めましたか。

1. 入学前
2. 1年終了時
3. 2年前期終了時
4. 2年後期

意見など：0件

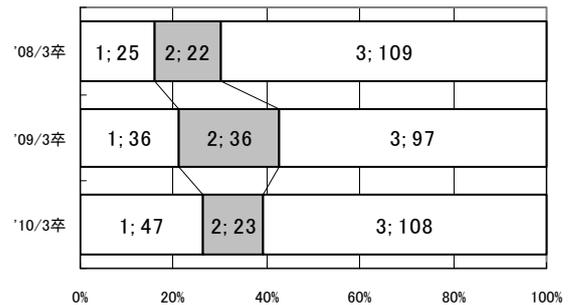
「2年後期」との回答が年々増えており、今回は「入学前」と同程度となった。一学科による教育プログラム制が浸透し、利点を利用しているのがわかる。



(B30) 入学時点で希望していた教育プログラムと最終的に選択した教育プログラムとで変更はありますか。

1. 変更した
2. 入学時点では特定の希望はなかった
3. 変更しなかった

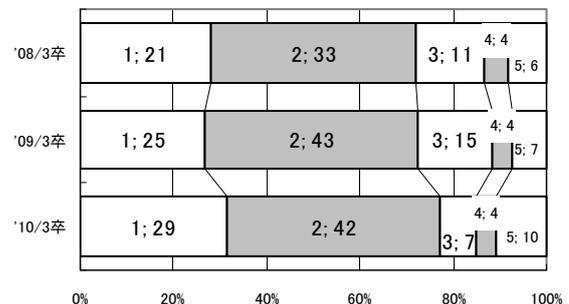
B29 と合わせて考えると、入学時点で希望している分野を結果的に選ぶ学生が6割であるが、それを決めるのは入学後であるのが大多数である。一方、「変更した」学生も年々増えている。1、2年次の授業の重要性がこの結果からもわかる。



(B31) 前問で 1. 変更した あるいは 2. 入学時点では特定の希望はなかった を選んだ方にお聞きします。教育プログラムを変更した理由あるいは決めるときに考慮した事項は何ですか。(複数回答可)

1. 1年次基盤科目を受講して、教育プログラムを変更あるいは決めた
2. 2年次共通科目を受講して、教育プログラムを変更あるいは決めた
3. 教育プログラム説明会を聞いて、教育プログラムを変更あるいは決めた
4. チューターとの相談を通して、教育プログラムを変更あるいは決めた
5. その他 ()

その他：9件



2年次共通科目，次に1年次基盤科目で教育プログラムを決めた学生の割合が多い。B28の結果も含めて1，2年次の授業の重要性がわかる。

(B32) 教育プログラム説明会の時期はいつがよいですか。現在は1年次および2年次の後学期開始時期に開催していますが，回数や時期に関して意見があれば自由に記述して下さい。

時期（自由記述）：71件

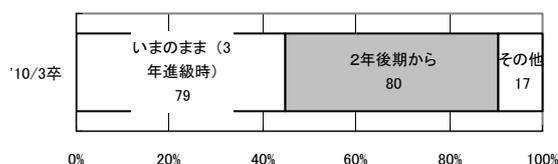
時期について有効な意見が68件であり，その内，「今のままでよい」が42件であり，「特になし」が9件であった。時期に関しては現状でそれほど問題はないようである。次に多かった意見としては，「多い方がよい」が5件，「いつでもよい」と「2年前期」が2件ずつであった。

(B33) 現在，3年進級時に教育プログラムを選択していますが，今かえりみていつがよかったと思いますか。

1. いのまま（3年進級時）
2. 2年後期から
3. その他

意見など：31件

「いのまま」と「2年後期から」がほぼ半々の結果であった。「2年進級時」や「1年から」，「入学時」という意見もあった。



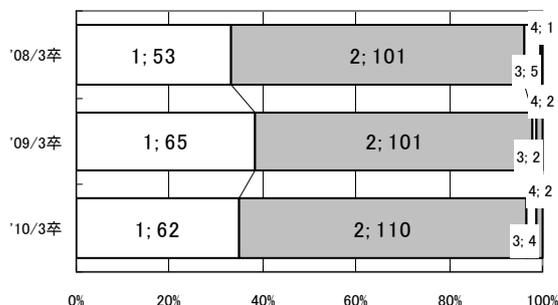
3年次展開科目の教育内容についてお聞きします。

(B34) 3年次展開科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

意見など：11件

過去2年間も含めて「適当であった」が6割を占めているが，「難しい」と感じている学生も多いようである。なお，「科目によって差がありすぎる」という意見もあることに注意が必要である。

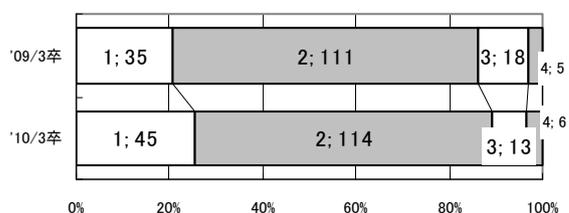


(B35) 1年次基盤科目，2年次共通科目の教育内容は関連する展開科目を受講する上で

1. 非常に役立った
2. 少しは役立った
3. あまり役立たなかった
4. ほとんど役立たなかった

意見など：8件

「役立った」とする1と2を合わせると8割を大きく超え，昨年より増えている。カリキュラムを作成する上で積み上げていくことを想定している授業科目にとっては，「続きなので当たり前では？」と感じられたようである。



(B36) 各プログラムの講義科目およびその内容について意見があれば自由にお書き下さい。また、新たに開講してもらいたい科目があれば、記述して下さい。

意見や授業科目など（自由記述）： 23 件

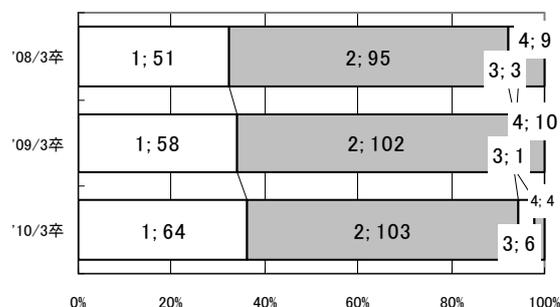
4 年次発展科目の教育内容についてお聞きします。

(B37) 4 年次発展科目の授業の水準は

1. 難しかった
2. 適当であった
3. やさしかった
4. その他

意見など： 4 件

「適当であった」が 6 割を超えるが、「難しかった」が徐々に増えている。

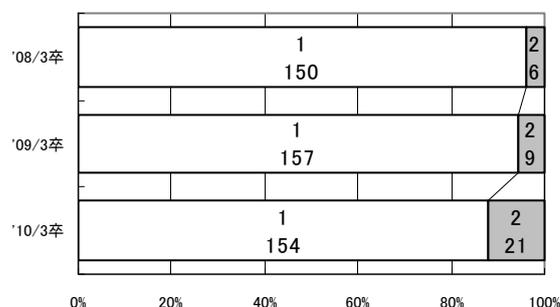


(B38) 希望する特別演習が履修できましたか。

1. 履修できた
2. できなかった

意見など： 6 件

「履修できた」がほとんどであるが、年々減少している。早目の対応が必要であろう。

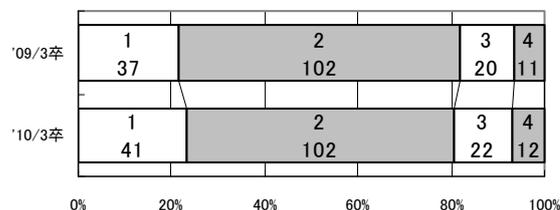


(B39) 1 年次基盤科目，2 年次共通科目の教育内容は発展科目を履修するために

1. 非常に役立った
2. 少し役立った
3. あまり役立たなかった
4. ほとんど役立たなかった

意見など： 3 件

1 と 2 の「役立った」を選んだ割合が 8 割となっている。(B35)と同様で、関連しているのは当然のことのようである。

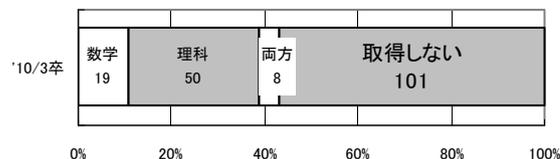


(B40) 教員免許を取得予定ですか。

1. 数学だけの教員免許を取得する
2. 理科だけの教員免許を取得する
3. 数学と理科の両方の教員免許を取得する
4. 教員免許は取得しない

意見など： 4 件

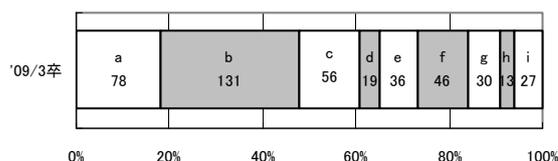
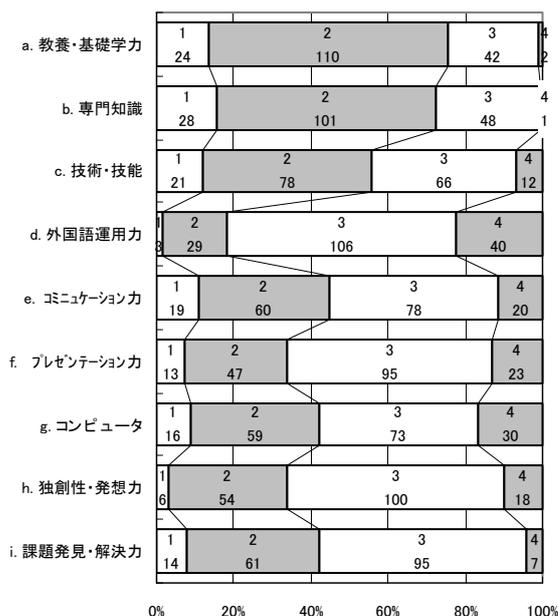
教員免許の取得予定者が 43%である。数学と理科の両方を取得予定者が 4%強である。



(B41) 4年間の履修を通してどのような力が身についたと思いますか。それぞれの項目に関して、次の4段階で回答してください。

1. よく身に付いた
2. ある程度身に付いた
3. もっと身に付けたかった
4. 全く身につかなかった

- a. 教養・基礎学力：
 b. 専門知識：
 c. 技術・技能：
 d. 英語を含めた外国語運用力：
 e. 一般的なコミュニケーション力：
 f. プレゼンテーション力：
 g. ITリテラシー・コンピュータ操作能力：
 h. 独創性・発想力：
 i. 課題発見・解決力：



意見など：3件

「a. 教養・基礎学力」、「b. 専門知識」が身に付いたと感じているようである。一方、「d. 英語を含めた外国語運用力」は極端に身に付いていないと感じていることがわかる。今後の大きな課題であるといえる。また、「f. プレゼンテーション力」、「h. 独創性・発想力」が身に付いたとする学生は3割程度であり、検討が必要である。昨年度は、身に付いたと思うものを選択してもらった回答方法だったため、簡単に比較することはできないが、昨年度の結果を示している。定性的には今年度と対応しているが、数値的な比較は質問の仕方が異なるので困難である。少数であるが、意見を列挙すると、「専門のみになってくるとかなり独創性などはなくなる。」、「基本的に履修するだけでは身に付かないと思う。各々が自分でやるしかないと思う。」、「自発的に身につけたものも少々」であった。

(B42) 今かえりみて、選択した教育プログラムは自分にとってよかったと思いますか。

1. 思う
2. 思わない

意見など：7件

昨年同様、「思う」が9割を超えている。

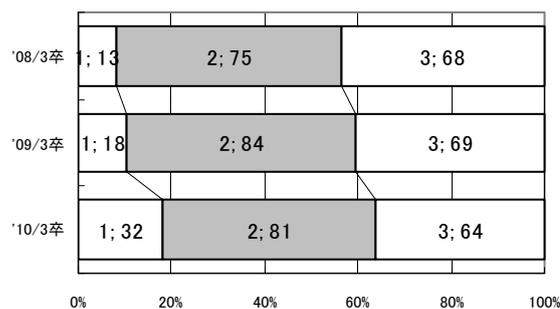


(B43) 4年間の大学生活において、授業に関すること以外で、課題を見つけて自主的に学習しましたか。

1. よくした
2. 時々した
3. ほとんどしなかった

意見など：9件

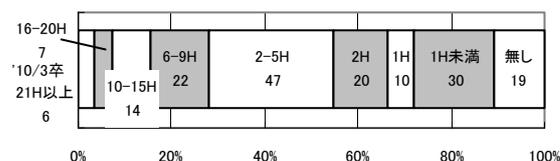
自主的に学習したという割合が年々上昇している。「よくした」と「時々した」を合わせると6割を超えているが、「ほとんどしなかった」が4割近くあることにも今後注意が必要である。



(B44) ふだんの学校外での学習時間は1週間で何時間ぐらいになりますか。

1. 21時間以上
2. 16~20時間
3. 10~15時間
4. 6~9時間
5. 2~5時間
6. 2時間
7. 1時間
8. 1時間未満
9. 全くしない

2~5時間を選んだ学生がもっとも多いが、1時間ごとに区切ると、1時間未満が最も多くなる。1週間で何時間かという質問であるので、十分な時間ではない。

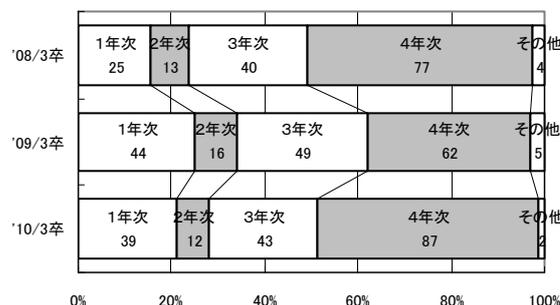


(B45) 4年間の中で勉学意欲が最も上がったのはどの時期ですか。

1. 1年次
2. 2年次
3. 3年次
4. 4年次
5. その他

意見など：16件

年度により変動がみられるが、「4年次」がもっとも多いことは変っていない。また、「2年次」がもっとも少ない。

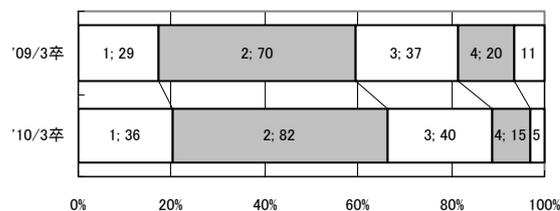


教育プログラム制全般に関してお聞きします。

(B46) 教育プログラム制に対して満足していますか。

1. 満足
2. どちらかといえば満足
3. どちらとも言えない
4. どちらかといえば不満足
5. 不満足

「満足」、「どちらかといえば満足」で6割を大幅に超えており、昨年度より増加している。満足度はいい方向に向いている。



(B47) 教育プログラム制に対して意見があれば自由に記述して下さい。

意見など：30件

C. 卒業後の進路について

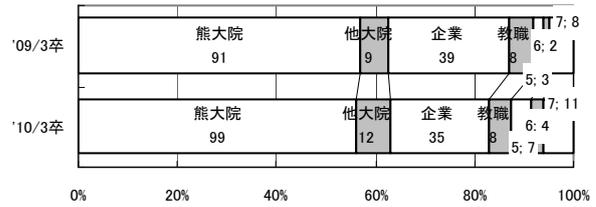
(C1) あなたの4月以降の進路は何ですか。

- 大学院進学 1. 熊本大学 2. 他の大学
就職 3. 民間企業
4. 教職（非常勤および臨時採用を含む）
5. 公務員 6. その他の就職先

7. その他（進学・就職以外）

その他：7件

大学院進学者が6割を超えている。一方で、2割程度の民間企業への就職の他、教職や公務員も一定の割合で推移している。



(C2) 大学院に進学する人にお聞きします。大学院進学をいつ決めましたか。

時期：111件

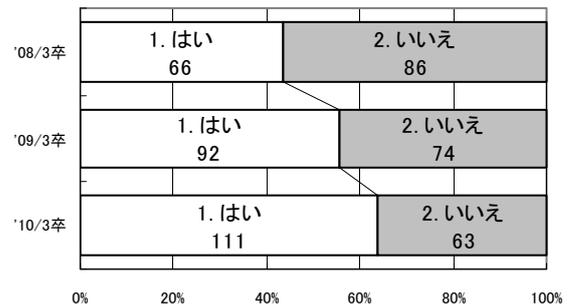
入学前が37件、3年次が35件、4年次が26件であった。3割程度が入学前からであり、入学後に大学院進学を決めた学生のほとんどは3~4年次で進学を決めている。

(C3) 3年次に理学部が開催している就職説明会には出席しましたか。

1. はい 2. いいえ

意見など：4件

参加者は例年増加しており、今回は6割を超えた。

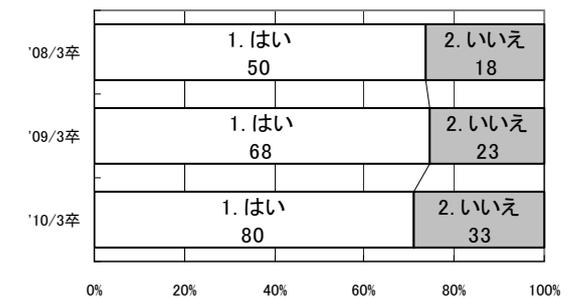


(C4) 上記の就職説明会に出席した方にお聞きします。役立ちましたか。

1. はい 2. いいえ

意見より：7件

ほぼ同じ割合を維持しているが、参加者も増えたためか、割合としては少し減少している。

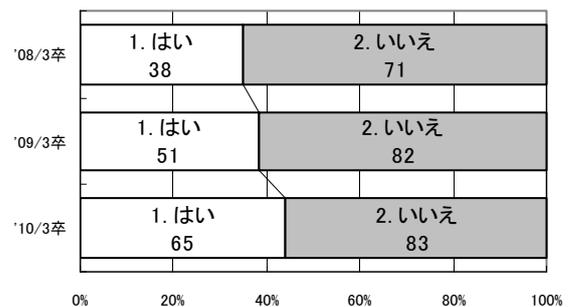


(C5) 就職に関する理学部からの情報提供は十分でしたか。

1. はい 2. いいえ

意見など：13件

年々増加しているが、まだ、4割を超えた程度である。学生のニーズを踏まえ、更に情報提供を充実する必要がある。



1. あった方がよい 2. なくてもよい 3. その他

意見など： 9 件

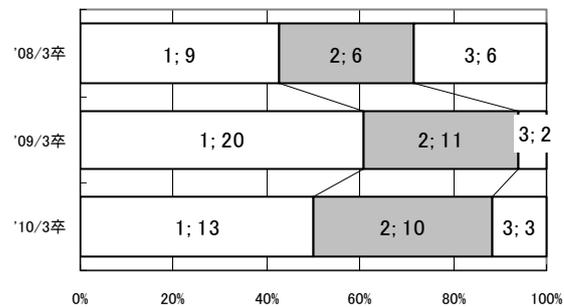
多少減少したが「あった方がよい」という意見は 7 割程度あり，多くの学生が望んでいるのがわかる。

(C11) 学外特別演習（インターンシップ）を履修した方にお聞きします。卒業後の進路を決める上で役立ちましたか。

1. 役立った 2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

意見など： 2 件

回答数が少ないので，年度によるばらつきがみられるが，「役立った」が半数程度である。



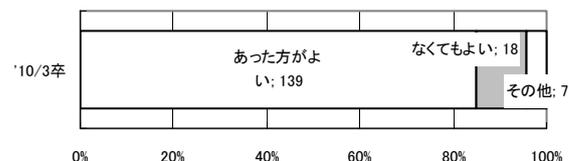
(C12) 平成 20 年度から講演会形式でスタートし，平成 21 年度入学者から本格的にキャリア科目として理学概論（Total Management of Science）を新設し，2 年次に理学が企業などの管理職などでどのように活用されているかを学習する機会を設けています。

このようなキャリア科目は必要だと思いますか。

1. あった方がよい 2. なくてもよい
3. その他

意見など： 16 件

「あった方がよい」が 8 割を超え，大多数を占めている。



(C13) その他，大学院進学や就職に関して希望することもしくは意見があれば，自由に記述して下さい。
意見など： 22 件

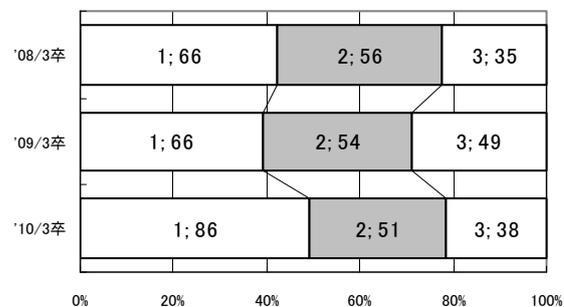
D. 学習環境について

(D1) 自主的に学習できる場所や施設は十分ですか。

1. 十分 2. どちらとも言えない
3. 不十分

意見など： 20 件

年度による変動があるが，「十分」が 5 割程度に増加している。ただし，自主的に学習できる場所のとらえ方や，利用時間の誤認などのため，矛盾した意見が見られる。

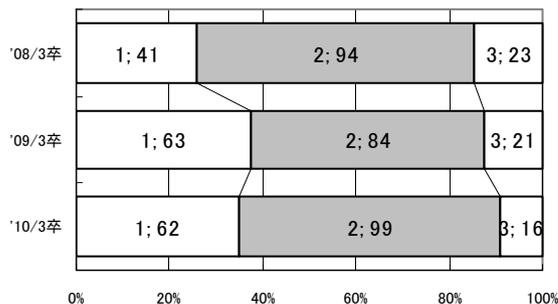


(D2) 図書館や理学部の図書室を利用しましたか.

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

意見など：6件

1と2を合わせた割合は少しずつ増えているが、「よく利用した」が前年より少し減少し35%程度である.



(D3) 教科書以外の専門書をどれぐらい読みましたか. 冊数で答えて下さい.

冊数 (おおよその数でもよい) : 155件

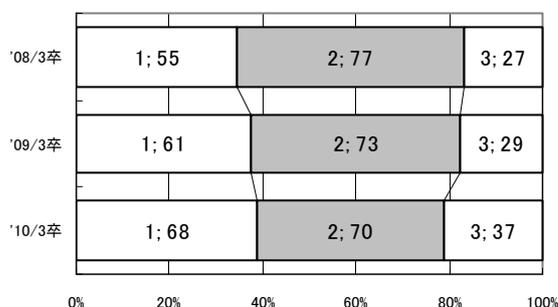
平均が12.3冊であった. 0冊が17件, 1~10冊が98件, 11~20冊が27件, 21~30冊が5件, 31冊以上が8件であった. 専門書をどのようにとらえたかにも回答は依存しているので, 分析は難しいが, 1~10冊が98件であるところをみると, 教科書のたぐいは入れていないようである.

(D4) 図書館や理学部の図書室の専門図書は充実していると思いますか.

1. はい
2. どちらとも言えない
3. いいえ

意見など：12件

「はい」と「いいえ」が年々増加しており, 今回は「はい」が4割近くまで上昇しているが, 「いいえ」も2割を超えている.

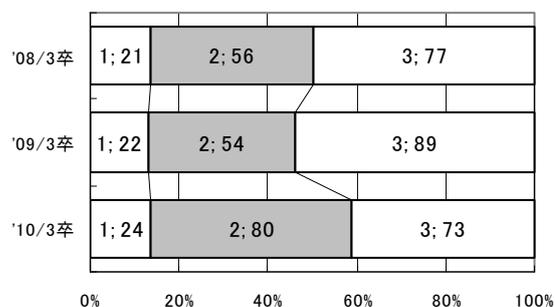


(D5) 理学部の計算機室は利用しましたか.

1. よく利用した
2. 時々利用した
3. あまり利用しなかった

意見など：8件

「時々利用した」が昨年より増えているが, 依然として4割は「あまり利用しなかった」となっている.



(D6) 自主的な学習環境として必要なものがあれば, 挙げて下さい.

必要なもの：47件

「自習室」が13件で最も多く, その中には24時間利用可能なもの, 質問に答えてくれる人がいることなど, 内容について要望もあった. 「特になし」が9件, 「専門書」が5件であった. 医学系の専門書を要望する声もあった. 「図書館」, 「パソコン」, 「机」が3件で続いた.

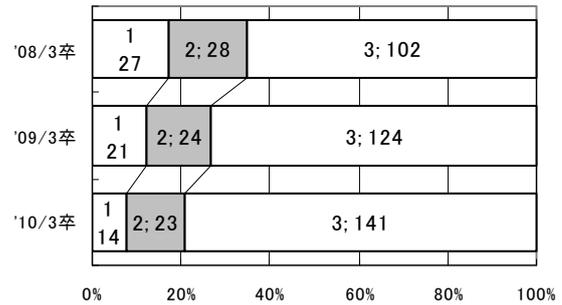
E. 学生生活について

(E1) 学生生活に関して担任やチューターに相談したことがありますか.

1. 2回以上 2. 1回 3. ない

意見など：2件

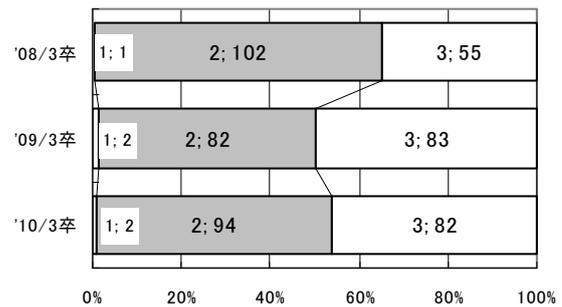
学生生活に関して相談する学生は減少しており，8割近くになっている.



(E2) 学部長へのダイレクトメールについて

1. 利用したことがある
2. 今まで利用したことはない 3. 知らなかった
意見など：1件

年度による変動はあるが，「知らなかった」が半分近くあり，今後も周知につとめる必要がある.

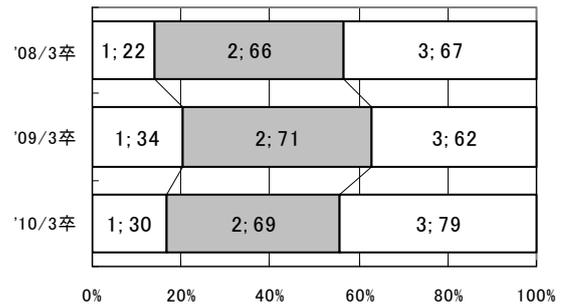


(E3) 合宿研修，七夕祭り，球技大会など各種イベントに興味がありましたか.

1. 大いにあった 2. 少しあった
3. あまりなかった

意見など：3件

年度によるばらつきがあるが，回答の分布はほぼ同じものである.

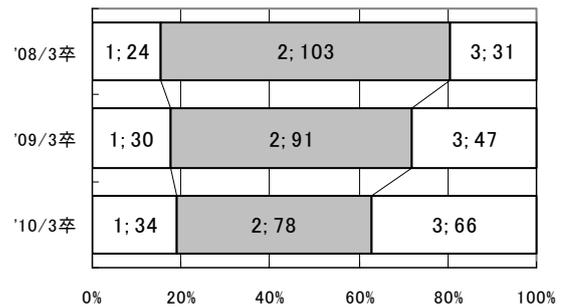


(E4) 七夕祭りや球技大会に参加しましたか.

1. 3回以上参加した 2. 1~2回参加した
3. 参加したことはない

意見など：1件

参加者としては，「1~2回参加した」が年々減少しており，「3回以上参加した」と「参加したことはない」に2分化する傾向にある.

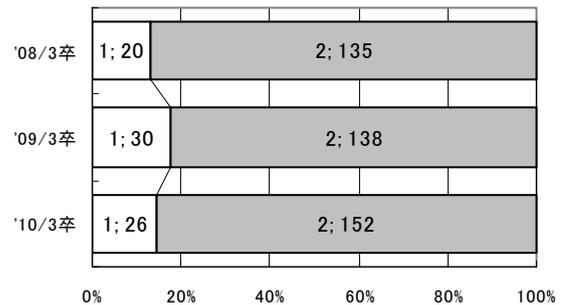


(E5) 学生自治会の活動について

1. 知っている 2. 知らない

意見など：4件

「知らない」が相変わらず多い，学生自治会の目に見える活動が必要である.



(E6) イベントに参加して、感想や意見があれば、自由に記述して下さい。

感想や自由記述：32件

(E7) 他に実施してほしいイベントがあれば、自由に記述して下さい。

希望するイベント：23件

F. 授業改善アンケートおよびシラバスについて

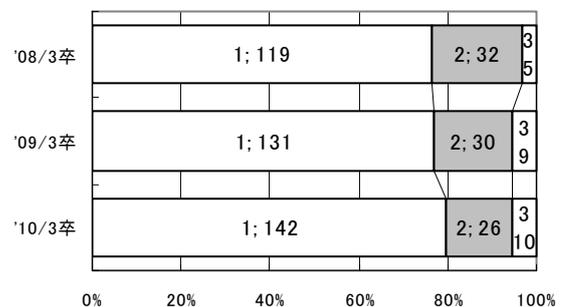
シラバスについてお聞きします。

(F1) 履修する科目を選択する際にシラバスは役立ちましたか。

1. 役立った
2. どちらとも言えない
3. ほとんど役立たなかった

意見など：6件

「役立った」が微増し、ほぼ8割に達している。シラバスは科目選択の指標となっているようである。

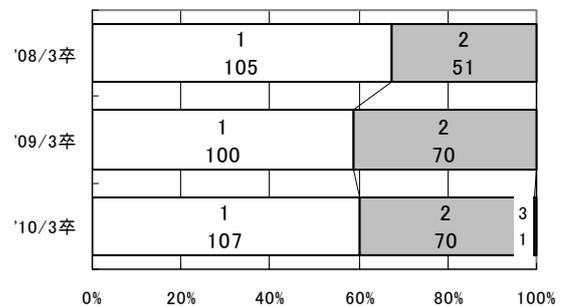


(F2) 成績評価の方法はシラバスに明確に記述して欲しいですか。

1. 記述して欲しい
2. 今の程度でよい
3. その他

意見など：2件

変動はあるが、「記述して欲しい」が「今の程度でよい」を上回っている。

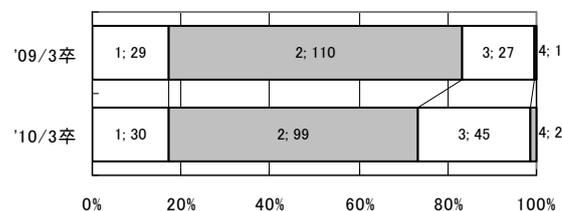


(F3) 全体的に、シラバスに記載された方法で厳格な成績評価が行われていると思いますか。

1. 行われている
2. 多くの科目で行われている
3. あまり行われていない
4. その他

意見など：5件

「あまり行われていない」が増加していることが気になる場所である。当然、科目によって異なっているようである。



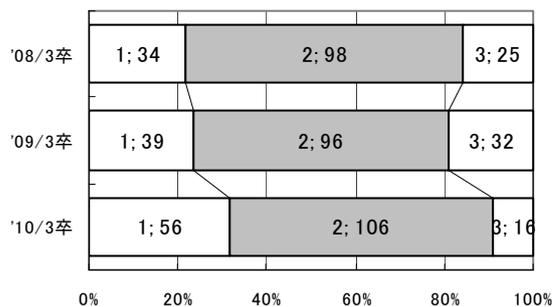
「授業改善のためのアンケート」についてお聞きします

(F4) アンケートの目的は理解していますか。

1. 十分理解している
2. ほぼ理解している
3. よくわからない

意見など：0件

アンケートの目的はほぼ理解されており，その割合も年々増加している。定着してきたといえよう。



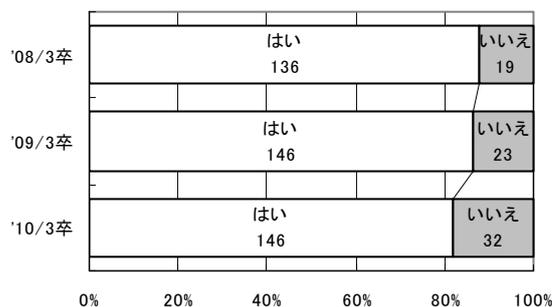
(F5) アンケートの回答に積極的に協力しましたか。

1. はい
2. いいえ

意見など：3件

アンケートの回答に 8 割以上が積極的に協力しているが，年々微減している

.

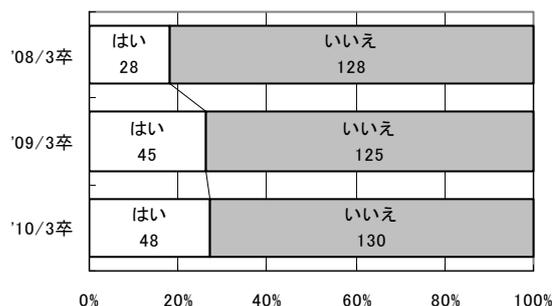


(F6) Web 上での教員のコメントは読みましたか。

1. はい
2. いいえ

意見など：8件

コメントを読む学生の割合が少し増えてはいるが，まだ 3 割にも達していない。コメント入力率の向上を呼びかけると同時に，入力されたコメントが有効に利用されるようにするか，コメント入力の別の形式を検討する必要がある。



G. 自由記述

(G1) 「一学科による教育プログラム制」について，あなた自身がよいと評価できる点や改善が必要であると考える点について自由に記述して下さい。

意見：92件

意見の多かったものから列挙する。なお，一人で複数の意見を寄せた人も多かった。また，以下に示している意見は代表的なものを示しており，類似の意見の件数を数字で示している。

「大学に入学した後で，進路を選択できることがよい：22」

「もっと早い時期に教育プログラムの選択をするようにしてほしい：16」

「広い分野が学べて視野が広がる：12」

「他の分野の授業が学べてよかった：11」

- 「他の大学などに比べて専門性に欠ける：10」
- 「専門にかかる時間が短かくなってしまふ：7」
- 「1年から専門や学科に分かれた方がよい：6」
- 「広い分野を学ぶことで知識の関連性が深まる：6」
- 「特になし：6」
- 「5分野全て学習できてよかった：4」
- 「専門分野が深く学べてよかった：4」